

令和6年 第4回定例会

11月27日から12月13日までの17日間、開催しました。

開会後、嶋議長が崇仁親土妃百合子殿下の薨去に対し弔意を表しました。議長の諸般の報告に続いて、令和6年度大分県一般会計補正予算の議案などが提出され、佐藤知事が提案理由を説明しました。

12月4日から3日間にわたり行われた一般質問には12人の議員が登壇し、県政の課題等に対して執行部と活発な議論を行いました。12月6日には、追加の補正予算案が提出されました。

12月9日、10日に開催された各常任委員会では、付託された議案等について審査を行いました。今定例会では、知事提出議案33件、議員提出議案1件について可決・同意等を行いました。閉会しました。

本会議の様子はインターネット中継から録画配信をご覧ください。



自由民主党
大分県支部
委員長
山本 正人
議員



全国豊かな海づくり大会のレガシーについて

全国豊かな海づくり大会のレガシーを水産振興にどのようにつなげていくのか、知事に伺います。

◆ 今大会の成果を本県水産業の振興につなげていくことが重要であり、次の2点に取り組みたいです。

一つは、つくり育てる漁業の取組を漁業関係者と一層進めていくことです。
漁船漁業では、天皇皇后両陛下

一般質問 12月4日水



自由民主党
大分県支部
委員長
山本 正人
議員



持続可能な地域づくりについて

「コンパクトなまちづくり」を含む持続可能な地域づくりについて、今後どのように取り組んでいくのか、知事に伺います。

◆ 本県では、新たな長期総合計画において、限られた資源の集中的・効率的な利用を実現するコンパクトなまちづくりの検討を行うこととしました。
将来を見据えた今後のまちづくりについては、主体である市町村との議論を深めることが重要です。市町村によってコンパクトなまちづくりへの課題は様々です。県としては、デジタルや先端技術を活用し、地域の課題解決を支援しつつ、長期的な観点からコンパクトなまちづくりの検討も進め、持続可能な地域づくりに取り組んでいきます。

※コンパクトなまちづくりとは
地方都市の持続性を維持・向上するため、地域の生活サービス機能を集約し、居住を誘導する多様な拠点の創出を図ること

質問はこのほか「県経済の活性化について」など4項目



天皇皇后両陛下の稚魚御放流

質問はこのほか「社会資本整備の諸課題について」など5項目

12月5日木



無所属の会
佐藤 之則
議員



◆ 宇佐・国東半島地域の世界遺産登録について



県民クラブ
玉田 輝哉
議員



環境先進県おいたについて

環境先進県おいたの実現に向けてどのように取り組んでいくのか、知事に伺います。

◆ 新たな環境基本計画では、環境先進県おいたの実現を目指し、脱炭素、資源循環、環境保全の3つを柱に取り組みこととしていきます。
脱炭素は、資源循環や自然環境保全と密接につながっているため、10月から、環境に関する新た

	ステップ1	ステップ2
脱炭素	ごまめ消灯などに取り組み、家電の買い換えはLEDなど省エネ型にしよう 宅配は確実に受け取れる配達日時と場所(コンビニ、置き配含む)を指定しよう 健康アプリ「おいたの歩得(あるとっく)」を使って徒歩で出かけよう	九州エコファミリー応援アプリ「エコふあみ」を使ってエコライフを始めよう 都合が悪くなったら、事前に宅配事業者へ変更の連絡をしよう 自転車(シェアサイクル含む)、公共交通機関を利用しよう
資源循環	食品トレイ・ペットボトルを分別しよう 環境ラベルのついた商品を探してみよう 買い物前には冷蔵庫をチェックしよう	食品トレイ・ペットボトルをスーパーの回収箱に持っていこう 環境ラベルのついた商品を選んで買おう 賞味期限の短いものから買って、食べよう
環境保全	ごみは持ち帰ろう	ごみ拾いなど環境保全活動に参加しよう

グリーンアップおいたアクション

◆ 宇佐・国東半島地域の世界遺産登録に向けて、どのように取り組んでいくのか、企画振興部長に伺います。

◆ 本地域の世界遺産登録に向けて、歴史博物館を中心に学術的研究を進め、平成30年に書籍「聖なる霊場・六郷満山」を刊行しました。文化財については、遺跡等の調査を積極的に行い、国7件、県15件の指定に結び付けました。今後、多額の費用を要する水道管更新の負担軽減に向け、新たに県と市町村で人工衛星の画像を活用した漏水判定を実施し、漏水調査の効率化を図りたいです。

◆ 質問はこのほか「防災対策について」など2項目



自由民主党
阿部 長夫
議員



水道事業の広域化について

◆ 水道管更新等、ハード整備も含めた水道事業の広域化に、今後どのように取り組んでいくのか、総務部長に伺います。

◆ 本県運動としてグリーンアップおいたを開始しました。更に県民の皆さんに取り組んでもらいたい具体的な行動を脱炭素だけでなく資源循環、環境保全の分野と合わせて、グリーンアップおいたアクションとして示しています。こうした認識を県民の皆さんと共有しながら、環境を守ることのみならず、活かして選ばれる環境先進県おいたの実現を目指してまいります。

◆ 質問はこのほか「県政重点方針について」など4項目



自由民主党
三浦 正臣
議員



孤立集落対策について

◆ 南海トラフ地震が切迫していると言われている中、どのように孤立集落対策を進めていくのか、防災局長に伺います。

◆ 県では、平成26年度に南海トラフ地震を想定した「地震・津波に伴う孤立集落等支援指針」を策定しています。この指針に基づき、早期避難の推進や救援ポイントの設定、救助・救援訓練等に取り組んできました。しかし、今般の能登半島地震での被災状況を受け、改めて孤立集落発生の可能性について調査を実

◆ 本県では、平成の大合併に伴い水道事業の統合が進んだ結果、浄水施設などの大幅な削減が図られたところ。しかし、地形的な制約等もあり、水道管の一体的整備などハード面での連携は難しい状況。

◆ このため、令和5年3月に策定した水道広域化連携プランに基づき、ソフト面での連携を中心に取組を強化しています。
また、多額の費用を要する水道管更新の負担軽減に向け、新たに県と市町村で人工衛星の画像を活用した漏水判定を実施し、漏水調査の効率化を図りたいです。
引き続き、市町村と一体となって、水道事業の持続的な経営を確保してまいります。



人工衛星の画像を活用した漏水判定(イメージ図)

◆ 質問はこのほか「二次産業の振興について」など3項目



自由民主党
松田 将太 議員



左のQRコードは
1950508-

河川の草刈りについて

Q 堤防の点検など災害発生時の状態把握につながる河川の草刈りについて、今後どのように取り組んでいくのか、土木建築部長に伺います。

A 治水支障となる草木は、河床掘削などと併せて除去を行うとともに、堤防の草刈り等についても、防災上の観点から必要に応じて実施しています。河川の環境保全を目的とした草刈りは、ボランティア団体の活動を支援しているほか、参加者の負担軽減を図るため、ラジコン草刈り機を導入したところ。また、恒久的な防草対策も有効



ラジコン草刈り機

であるため、堤防天端の簡易舗装などに取り組み、これまで26河川で約20km実施しました。引き続き、地域の声を聞きながら、河川環境整備に取り組んでいきます。

質問はこのほか「産業の振興について」など5項目



自由民主党
松田 将太 議員



左のQRコードは
1950508-

半導体関連産業の振興について

Q 半導体関連産業の振興にどのような取り組みをされているのか、知事に伺います。

A 本県では、半導体関連の投資を積極的に呼び込むべく取組を進めており、令和4年度以降、400億円を超える投資が県内で実行・計画されています。令和6年8月の台湾プロモーションの際には、台湾企業の誘致を目的に、初めて企業誘致セミナーを開催し、本県の魅力や産業用地等のPRを行いました。その結果、早速、複数の台湾半導体関連企業から、進出に関する問い合わせを受けるなど、手ごたえを感じています。

また、新たな投資ニーズに応えるため、大規模産業用地の開発も加速していきます。

さらに、LSIクラスター形成推進会議を核として、地場企業の技術力向上や人材確保・育成も後押ししていきます。

こうした県独自の取組に加え、九州半導体人材育成等コンソーシアムとも連携し、オール九州で半導体関連産業の振興に取り組んでいきます。

質問はこのほか「DXの推進について」など7項目



自由民主党
松田 将太 議員



左のQRコードは
1950508-

12月6日(金)

Q 地域医療を支えるかかりつけ医療機能の確保にどのように取り組んでいくのか、福祉保健部長に伺います。

A 現在、国において、かかりつけ医療機能の確保に向け、地域の実情を把握する市町村などを関係者間での協議を進めるためのガイドラインを作成しており、今年度末までに示される予定。一方、県では、在宅医療の提供体制の強化を図るため、今年度から医療従事者を対象とした連携会議等を各地域で実施しており、こうした機会を協議の場として活用していきます。県としては、こ

肉用牛の生産振興について

Q 畜産業界の担い手不足への対策も含め、肉用牛の生産振興にどのように取り組んでいくのか、農林水産部長に伺います。

A 肉用牛振興に向け、生産基盤の強化や担い手の支援、消費拡大の取組が重要。生産基盤強化では、発育や肉質に優れた子牛を生産できる高能力な若い母牛への更新を急ぎ推進します。併せて子牛の質改善に資する緻密な飼養管理技術の普及も図



自由民主党
天野 涼子 議員



左のQRコードは
850009-



※かかりつけ医療機能とは、身近な地域における日常的な医療の提供や健康管理に関する相談等を行う医療機関の機能

質問はこのほか「地域防災計画について」など6項目



自由民主党
松田 将太 議員



左のQRコードは
1950508-

教育県大分の創造に向けた学校教育について

Q 教育県大分の創造に向けた学校教育をどのように推進していくのか、知事に伺います。

A 現在、教育委員会では、長期教育計画の策定を進めているところ。計画案では、10年後を見据え、変化が激しく将来の予測が困難な社会を生き抜くことができるよう、各種施策を計画的・総合的に推進することとしています。学校教育については次の4つを基本目標に掲げています。

- 一つは、学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進。
- 二つは、社会の変化に対応する教育の展開。
- 三つは、安全・安心で質の高い教育環境の確保。
- 四つは、信頼と対話に基づく学校運営の実現。

こうした基本目標のもと、令和7年度からの計画開始を目指し、意欲的に挑戦することができる学校教育を推進していきます。

質問はこのほか「中小企業への支援について」など5項目

可決された議案（議員提出）

○意見書1件

▽「パカンス法(仮称)」の制定を求める意見書

○可決・同意・承認・認定された議案等(知事提出)

- 予算2件
 - ▽令和6年度大分県一般会計補正予算(第4号)
 - ▽令和6年度大分県一般会計補正予算(第5号)
- 条例関係7件
 - ▽大分県使用料及び手数料条例の一部改正について
 - ▽大分県産業廃棄物税条例の一部改正について
 - ▽大分県の事務処理の特例に関する条例等の一部改正について
- 人事関係2件
 - ▽教育委員会委員の任命について
 - ▽公害審査会委員の任命について
- 決算関係1件
 - ▽令和5年度大分県病院事業会計利益の処分及び決算の認定について
 - ▽令和5年度大分県電気事業会計利益の処分及び決算の認定について

- その他6件
 - ▽当せん金付証券の発売について
 - ▽物品の取得について
- 報告1件
 - ▽令和6年度大分県一般会計補正予算(第3号)

県行政における公益通報者の保護について

Q 県行政における公益通報に関する体制の整備状況や、職員から通報があった場合の通報者保護について、どのように取り組んでいるのか、知事に伺います。

A 県では、任命権者ごとに通報の内部窓口を設置するとともに、手続きの公平性・中立性を確保するため、外部窓口を設置し、弁護士に業務を委託しています。通報者の保護の観点からは、3つの措置を講じています。



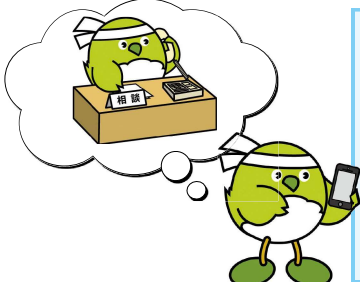
自由民主党
原田 孝司 議員



左のQRコードは
8501449-

質問はこのほか「地域の振興について」など4項目

ります。担い手支援では、新規就農者の施設整備や雌牛導入支援など初期投資の軽減を行います。また、受胎率を向上させる繁殖指導を重点的に行い、経営改善につなげます。消費拡大では、「おおいと和牛」プレゼンテーションや小中学校における給食への提供と食育授業を通じ、需要喚起を図る対策に取り組めます。



質問はこのほか「財政運営について」など6項目

一つは、通報者の特定の禁止と機密保持。匿名で通報できるほか、通報の処理にあたっては通報者を探索してはなりません。二つは、不利益な取扱いの禁止。通報したことを理由に、懲戒処分や給与面等で不利益に取り扱うことを禁止しています。三つは保護の実効性の確保。通報処理に関与する職員が禁止事項に違反した場合、懲戒処分の対象となります。今後とも通報者の保護を図りながら、県民から信頼される行政運営を進めていきます。

※公益通報とは、労働者・退職者(退職後1年以内)・役員が、役員提供先の不正行為を、不正の目的でなく、一定の通報先に通報すること